

平成 16 年度

Ⅴ 社 会

(14 時 20 分 ~ 15 時 10 分)

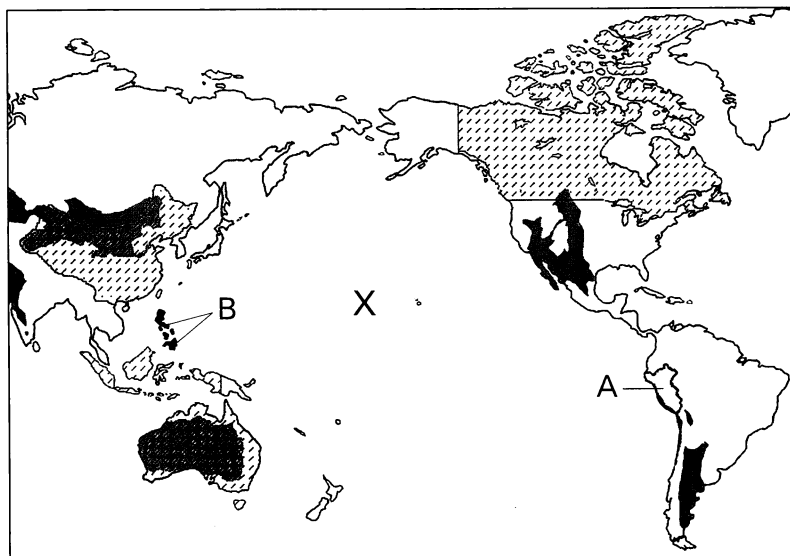
注 意

- 問題用紙は 3 枚 (3 ページ) あります。
- 解答用紙はこの用紙の裏面です。
- 答えはすべて、解答用紙の所定の欄に、文、文字などで答えるもののほかは、ア、イ、……などの符号で記入しなさい。
- 解答用紙の※印の欄には記入してはいけません。

1 右の地図を見て、(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 日本列島やアンデス山脈など、地図の海洋Xの周囲は、火山や地震の活動が活発な造山帯となっている。海洋Xを囲む造山帯名を書きなさい。

(2) 地図の●で示した地域に共通する気候について述べたものとして、最も適当なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。



- ア 一年を通して高温で降水量が多く、密林が広がっている。
- イ 降水量が少なく乾燥しており、樹木はほとんど育たない。
- ウ 夏が短いうえに冬の寒さがきびしく、針葉樹林が広がっている。
- エ 一年を通して寒さがきびしく、樹木はほとんど育たない。

(3) 日本が3月10日午前10時のとき、地図のA国は3月9日午後8時である。

① 日本では東経135度の子午線をもとに標準時を決めている。A国の標準時を決めている子午線の経度を、次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 東経75度 イ 東経105度 ウ 西経75度 エ 西経105度

② 地球を一周すると24時間の時差が生じ、日付が1日ずれる。そのずれをなくすため、どのような取り決めがあるか。次の三つの語句をすべて用いて説明しなさい。

日付変更線 西 東

(4) 地図の▨は、ある資源について、2001年における日本の輸入量の上位4か国を示している。ある資源とは何か。次のア～エの中から一つ選びなさい。

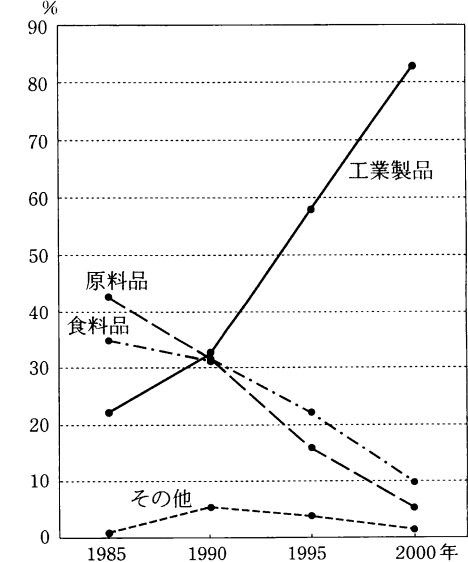
- ア 石炭 イ 原油 ウ 鉄鉱石 エ 木材

(5) 地図のB国について答えなさい。

- ① 右のグラフは、B国から日本への総輸出額にしめる輸出品別割合の変化を示している。その変化について、グラフから読みとれることを書きなさい。
- ② 次の文は、B国が加盟している国際組織の説明である。この国際組織は何か。書きなさい。略称で答えてもよい。

1967年に地域内の安定と発展を求めて設立され、政治と経済の分野で協力を進めている。現在10か国が加盟している。

グラフ B国から日本への総輸出額にしめる輸出品別割合の変化



(通商白書により作成)

2 次のA～Eのカードは、太郎君が一揆などの民衆の行動についてまとめたものの一部で、年代の古いほうからA～Eの順に並べてある。(1)～(6)の問いに答えなさい。

A	紀伊国(和歌山県)の阿 ^{あて} 氏 ^{がわしう} 河 ^が 荘 ^の の農民は、地頭が荘園の慣習を無視して新しい負担を課したので、集団で村をはなれるなどして抵抗した。	B	正長のころに、農民は、土倉や酒屋などをおそったり、幕府に借金帳消しの徳政令を要求する土一揆をおこした。
C	北陸では、 <u>信仰</u> で結びついた武士や農民たちが一揆をおこし、守護大名をたおした。	D	島原(長崎県)や天草(熊本県)地方で、キリスト教徒への迫害や領主の圧政に苦しんだ人々が一揆をおこした。
E	天明のききんがおこり、百姓一揆が続ぎ、江戸や大阪でも大規模な打ちこわしがおこった。		

(1) 右の資料は、Aのころの市の絵である。この時期の市について、あてはまるものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 農業や手工業の生産力が高まり、寺社の門前や交通の便利なところで市が開かれるようになった。
- イ 商工業の発展をはかるため、楽市・楽座の政策がとられ、市場の税が免除された。
- ウ 市が広く各地に生まれ、開催日数が増加し、取り引きに宋銭や明銭などが多く使用されるようになった。
- エ 唐の貨幣にならって和同開珎が発行され、都の市では、各地から送られてきた産物が売買された。



備前国福岡(岡山県長船町)の市 (一遍聖絵)

(2) Bのような一揆がおこるようになった背景として、最も適当なものを次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 五人組の制度によって、農民は犯罪の防止や年貢の納入に共同の責任を負わされていた。
- イ 有力な農民の指導のもとで、惣とよばれる自治的な組織がつくられ、農民の結びつきが強まった。
- ウ 農民は、刀・弓・やり・鉄砲などの武器を取りあげられ、もっぱら耕作に従事させられた。
- エ 農村に貨幣経済が広がり、農民は農具や肥料を購入するなど、自給自足に近かった農村の経済がくずれ始めた。

(3) Cの下線部にあてはまる仏教の宗派は何か。次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 一向宗 イ 真言宗 ウ 天台宗 エ 日蓮宗

(4) Dのできごとの後、幕府はどのような外交政策をおこなったか。次の三つの語句をすべて用いて書きなさい。

オランダ 中国 長崎

(5) Eのできごとのすぐ後に老中となり、さまざまな改革を進めたのはだれか。書きなさい。

(6) 次の文があてはまる時期はいつか。下のア～エの中から一つ選びなさい。

出雲(島根県)の阿国という女性が始めたかぶき踊りが人気を得て、女歌舞伎がさかんになった。

- ア AとBの間 イ BとCの間 ウ CとDの間 エ DとEの間

- 3 次の資料は、二郎君が「国会とわたしたち」というテーマでまとめたものの一部である。
 (1)～(5)の問いに答えなさい。

昨年の国会		
国会の種類	平成15年	国会のおもな動き
I	1月	<ul style="list-style-type: none"> • 国会が召集された。 • <input type="text"/> ※ <input type="text"/> が作成した平成15年度予算案を審議した。 • 平成15年度予算が成立した。 • 個人情報の保護に関する法律案などの審議を行い、138件の法律が成立した。
	2月	
	3月	
	4～7月	
II	9月	<ul style="list-style-type: none"> • 国会が召集された。 • 公職選挙法の一部を改正する法律案などの審議を行い、9件の法律が成立した。 • ①衆議院が解散された。
	10月	
III	11月	<ul style="list-style-type: none"> • ②国会が召集された。 • 衆議院議長・副議長を選出した。

気づいたこと

- ③国会は、財政活動を行うための予算案や社会の基本的ルールを定める法律案など、わたしたちの生活に関する重要な問題を審議し決定しています。
- わたしたちは主権者として、国会でどのような議論がなされているかに常に注目していく必要があると思います。

- (1) ※ にあてはまる語句を、次のア～エの中から一つ選びなさい。
 ア 予算委員会 イ 内閣 ウ 会計検査院 エ 日本銀行
- (2) 資料のI～IIIにあてはまる国会の種類の組み合わせを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

	I	II	III
ア	臨時国会	通常国会	参議院の緊急集会
イ	臨時国会	通常国会	特別国会
ウ	通常国会	臨時国会	参議院の緊急集会
エ	通常国会	臨時国会	特別国会

- (3) 下線部①の後、11月9日に衆議院議員選挙が行われた。次の表は、このときに行われたある選挙制度による選挙の結果について、A～Eの政党別に全国の各選挙区の得票数と当選者数をそれぞれ合計し、得票率と議席割合にして示したものである。ある選挙制度とは何か。書きなさい。また、その選挙制度であると判断した理由を書きなさい。

表 政党別得票率と議席割合

	A党	B党	C党	D党	E党
得票率(%)	37.4	35.0	14.8	7.8	5.1
議席割合(%)	40.0	38.3	13.9	5.0	2.8

(総務省資料により作成)

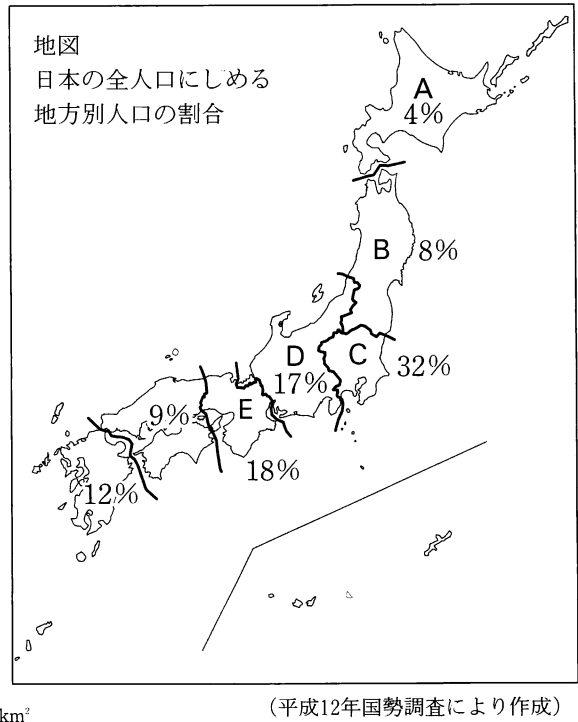
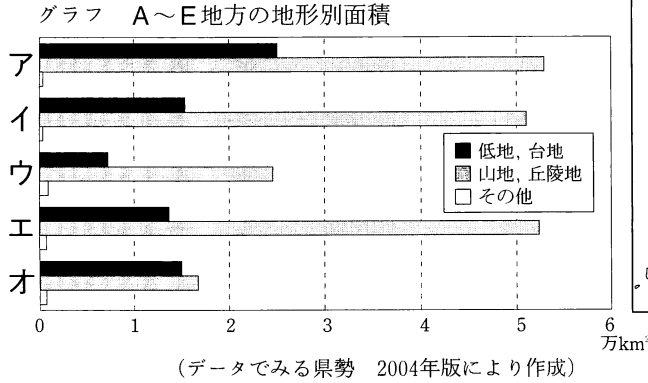
- (4) 下線部②の後に行われる次のア～エは、どのような順序で行われるか。2番目にあたるものを、ア～エの中から一つ選びなさい。
 ア 国務大臣の任命 イ 内閣の総辞職
 ウ 内閣総理大臣の指名 エ 内閣総理大臣の任命
- (5) 下線部③について、次のa, bの問いに答えなさい。
 a 国会は、主権者である国民の代表者によって構成されており、国の重要な問題を審議し決定している。このような政治のしくみを何というか。次のア～エの中から一つ選びなさい。
 ア 議院内閣制 イ 議会制民主主義 ウ 直接民主主義 エ 権力分立制
 b 国会で審議する過程において、意見が対立したままの場合には、最後は多数決で決定するのが基本である。多数決が民主政治のもとで正しく運営されるためには、多数決で決定する前にどのようなことに心がけなければならないか。書きなさい。

4 右の地図のA～E地方について、(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 右の地図は、日本の全人口にしめる地方別人口の割合を示したものである。B地方の人口は約何万人か。地図を参考にして、次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 約500万人 イ 約1000万人
ウ 約1500万人 エ 約2000万人

(2) 下のグラフは、A～E地方の地形別面積を示している。C地方を示しているものはどれか。ア～オの中から一つ選びなさい。

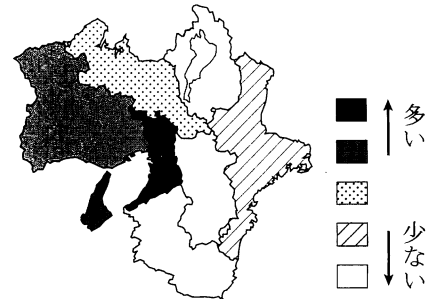


(3) 下の表は、E地方の府県別産業統計である。

- ① 表のX県の県庁所在地名を書きなさい。
② 右の地図は、表のア～ウのいずれかの項目について、その額の多少を府県別に表したものである。どの項目について表したのか。ア～ウの中から一つ選びなさい。

表 府県別産業統計 (単位 10億円)

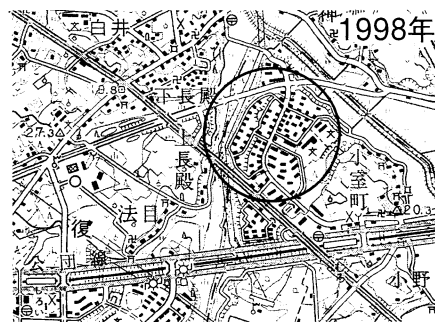
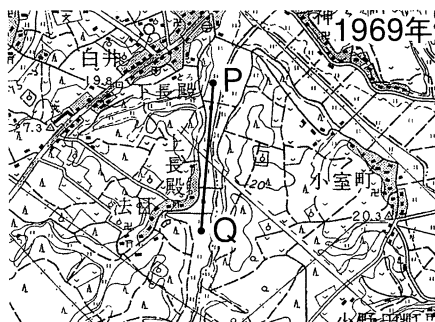
項目	ア	イ	ウ
府県名	農業生産額	工業出荷額	小売業販売額
X 県	126	7702	1794
滋賀 県	71	6087	1318
京 都 府	72	5283	3006
大 阪 府	38	17568	9668
兵 庫 県	164	13215	5506
奈 良 県	56	2178	1215
和 歌 山 県	101	2263	959



(データでみる県勢 2004年版により作成)

(4) 下の地図は、C地方における同じ地域の新旧2枚の5万分の1地形図の一部である。

- ① PQ間の地図上の長さは2cmである。実際の距離は何メートルか。書きなさい。
② 二つの地図を比べると、1998年の地図の円内には多くの住宅や団地がみられるようになった。このように、多くの人々が住むようになった大きな要因のうち、二つの地図の変化から読みとれることは何か。書きなさい。



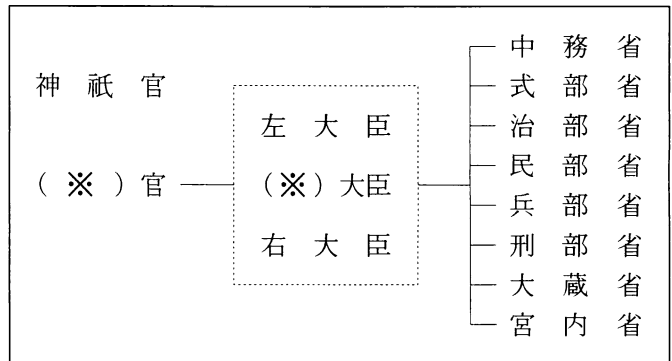
(国土地理院5万分の1地形図により作成)

5

次の略年表を見て、(1)～(5)の問いに答えなさい。

年	六四五	七〇一	七九四	一一三二	一三三四	一六一五	一八六七	一八八九	一九四五
おもなできごと	大化の改新……	① 大宝律令の制定	都を平安京に移す……	御成敗式目の制定……	建武の新政……	武家諸法度の制定……	王政復古の号令……	X の発布	② 戦後改革の開始……
	← A →		← B →		← C →	← D →	← E →	← Y →	

- (1) 右の図は、略年表中の①などにもとづいてつくられた中央の役所のしくみである。図の(※)に共通してあてはまることばを漢字2字で書きなさい。



- (2) 次のあ、い の文がそれぞれあてはまる時期はいつか。略年表中のA～Eの中から一つずつ選びなさい。

- あ 墨一色で自然をえがく水墨画が流行し、雪舟が活躍した。
- い 神話や伝承・記録などをもとにまとめた「古事記」や「日本書紀」がつけられた。

- (3) 次の文は、略年表中の X の一部である。 X にあてはまるものを下のア～エの中から一つ選びなさい。

日本臣民ハ法律ノ範囲内ニ於テ言論著作印行集会及結社ノ自由ヲ有ス

- ア 五箇条の御誓文 イ 大日本帝国憲法 ウ 治安維持法 エ 日本国憲法

- (4) 略年表中の②の一つに農地改革がある。この農地改革の内容を、次の三つの語句をすべて用いて書きなさい。

自作農 地主 小作人

- (5) 次のア～エは、略年表中のYの時期におこったできごとである。年代の古い順に左から並べて書きなさい。

- ア 日本は、ワシントン会議により海軍の軍備を制限し、山東半島の権益を中国に返した。
- イ 日本は、ドイツ、イタリアと日独伊三国同盟を結ぶいっぽう、ソ連と中立条約を結んだ。
- ウ ロシアでは皇帝が退位し、レーニンの指導のもと、社会主義の政府ができた。
- エ 日本は、江華島事件をきっかけに、朝鮮と日朝修好条規を結んだ。

6 次の資料は、花子さんが「現代社会とわたしたち」というテーマで課題学習をしたときに作成したレポートの一部である。(1)～(5)の問いに答えなさい。

	大量生産と大量消費の社会		産業構造の変化と職業の多様化
調査内容	<p>グラフⅠ 国内総生産の推移</p> <p style="text-align: center;">(内閣府国民経済計算資料により作成)</p> <p>グラフⅠのように、国内総生産は1955年以降増え続けました。</p> <p>また、人々の所得も増加し、消費も拡大しました。しかし、国民の生活水準の向上とともに、①大量生産、大量消費によるごみの増加など、環境問題も起こってきました。</p>	調査内容	<p>グラフⅡ 産業別就業者数の割合の推移</p> <p style="text-align: center;">(経済要覧 平成15年版により作成)</p> <p>グラフⅡのように、②日本の産業構造は1955年以降大きく変化してきました。</p> <p>また、新しい産業が発達し、さまざまな職業が登場するとともに、社会に進出して活躍する女性が増えました。男性だけの仕事とされていた分野にも、女性が積極的に進出しています。</p>
課題	<p>わたしたちは、豊かな社会の中で生活していますが、環境問題などの課題について、身近なところからできることを考えて行動することが必要です。</p> <p>また、③男女の区別なく、個人として能力をいかすことができる社会づくりが進んできていますが、これからは、④高齢者など社会的に弱い立場の人でも安心して生きていける社会を実現していくことが大切だと思いました。</p>		

- (1) グラフⅠのXの時期にあてはまるものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。
 ア 公害対策基本法の制定や環境庁の設置など、公害問題への取り組みが強まった。
 イ 労働者の地位を向上させるために、団結権や争議権を認める労働組合法が制定された。
 ウ 温室効果ガスの排出削減を話し合う地球温暖化防止京都会議が開かれた。
 エ バブルの崩壊によって、銀行は多額の不良債権をかかえこむようになった。
- (2) 下線部①とあるが、現在、わが国は、省エネルギーや資源の再利用を考えた製品の開発・生産、生産されたものの再利用の徹底などに取り組んでいる。このようにして廃棄物ゼロをめざす社会を何というか。次のア～エの中から一つ選びなさい。
 ア グローバル社会 イ 共生社会 ウ 循環型社会 エ 多文化社会
- (3) 下線部②について、グラフⅡは、わが国における産業別就業者数の割合の推移を示しており、グラフのA～Cは、それぞれ第1次産業、第2次産業、第3次産業のいずれかである。次のア～エの中から、Aに含まれるものを一つ選びなさい。
 ア 運輸・通信業 イ 水産業 ウ 鉱工業 エ 農林業
- (4) 下線部③について、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するため、わが国で1999年に制定された法律は何か。書きなさい。
- (5) 下線部④とあるが、右のグラフⅢは、わが国における14歳以下の年少者層、15～64歳の生産年齢層、65歳以上の高齢者層の総人口に占める割合の推移を示したものである。
 グラフの生産年齢人口と高齢者人口の割合の変化に着目すると、高齢者が安心して生きていける社会を実現するためには、今後、わが国においてどのようなことが課題となるか。次の二つの語句を用いて書きなさい。



生産年齢層	高齢者層
-------	------